

# 仕事人の必殺アイテム紹介

『アイテム名：炎炎ノ燃える魂チェッカー』

**VOL.005**

## 救急救命士として

苗字は伊勢田ですが出身はむつ市なんです。(笑) 東通村は地区が多く、今年で2年目となりますが、やっと地理も覚えてきました。生まれ育った下北を守る一員としてこれからも頑張っていきたいと思います!



消防署が近所にあり、小さい頃から憧れていたと話す伊勢田さん。都会とは違い、地方の消防は覚えることが多く、訓練のほか事務作業などやるのがたくさん。救急だけではなく、救助などまんべんなく覚えたいと話す努力家な伊勢田さん。

住民の方に感謝されたとき「頑張ってたかったなあ」とやりがいを感じるそうです。これからも村民の安全を守ってください!



撮影協力者: 消防吏員 伊勢田龍平さん(23歳)

Point1

左:検眼ライト、右:聴診器



聴診器や検眼ライトにはさまざまな種類があるそう。聴診器は、片面のものと両面のものがあり、両面のものでは、大きい面で呼吸音等(高音)を、小さい面で心音等(低音)を聴診するそう。検眼ライトは、最近はLED化し、眩しいとは思いますが動きが良く見えるとのこと。瞳孔スケールという瞳孔の大きさを測る際の物差しが付いている。

ロッカールーム

速く着替えができるように常に開放されている



ホース

使用後のホースは乾燥させる



Point2  
水槽車

現場に到着し、すぐに放水できる消防車。約10tの水が入っているとのこと。20分程度の放水が可能。

ノズルにはガンタイプとストレートタイプがあり、ガンタイプではノズルの先で放水量を調整できるそう。

水槽車1台に対し『機関員』が1名乗車し、様々な調整を行う。運転技術はもちろん、迅速で的確な消防ポンプ操作技術が求められる役割だと言います。

撮影時は3キロ程の圧力で放水してもらったが、実際は5キロ前後の圧力で消火活動を行うそうで、その圧力はとても強く、普通の人だと振り払われてしまうとのこと。放水して減った分の水は、消火栓などから給水し、常に満タンの状態にしておく。

「仕事人の必殺アイテム紹介」のコーナーでは、撮影協力者を随時募集しています。自薦他薦問いません! 東通村の希望の若者たち! 君も載ってみたいか! ???

※今月号は、地域おこし協力隊の活動報告コーナーをお休みさせていただきます。